

質問

春の統一選挙 村長選への意向は

村長

次期村政へ再び挑戦したい



【伊藤秀明議員】

事業所が少ない。そのため、北秋田市の相談支援事業所やサービス提供事業所、行政機関等との連携が欠かせないものとなつていて。

村長公約の達成度など

00点満点とした場合、自己評価はどうか。

伊藤議員 村の障害福祉計画と今後の取り組みとして、村独自の支援策を構築し、障害者の皆さんを安心させる施策を講ずる考えはない。

伊藤議員 村長は3項目の公約を掲げて取り組んできましたが、この3年半を振り返れば、副村長・監査委員の人事につまづき、計画性に欠ける小水力発電の減額修正案の可決、民法ラジオ電波事業の中止、集住型宿泊交流拠点施設の建設地の変更、農協支店存続のための土地・建物取得問題、そして今は副村長が不在となつていています。公約とは関係のないものもあるが、達成状況の所感を伺う。達成度を1

伊藤議員 今、村長が自分たちの相談は住民福祉班、場合によつては健康推進班も関わりながら対応しているが、村内にはサービス提供

伊藤議員 現在の施策として、「健康づくり」「教育」「雇用の拡大」の3点を重視して、将来に希望の持てる村にするため、「誠実そして堅実な行政運営」「生活できる村」「生活しやすい村」、この3つの基本的な考え方に基づいて選挙公約を掲げた。

伊藤議員 人口減少、少子高齢化の中で、黙つていれば村が駄目になる、将来に希望が持てなくなるのではといふ心配を強く思つてゐる。やつと4年間で、国や県、対外的な対応がスムーズになつてきた。これまでの行政経験を活かした村づくりをさせていただきたい。村づくりの考え方は、「健康

伊藤議員 この1期4年間の経験を踏まえ、総合計画及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をしつかり精査をしていただくとともに、初心を忘れずに頑張つてもらいたい。

村長 村民からはご指導やご批判、ご意見をいただいている。評価点は50点くらい頂ければありがたい。31年度予算は骨格予算としている。副村長の件は、現段階では考えていない。きちんととした形で対応したい。

次期村政への意向など



再出馬を表明した小林村長

伊藤議員 村長 障害者やその家族からの相談は住民福祉班、場合によつては健康推進班も関わりながら対応しているが、村内にはサービス提供

伊藤議員 村長は3項目の公約を掲げて取り組んできましたが、この3年半を振り返れば、副村長・監査委員の人事につまづき、計画性に欠ける小水力発電の減額修正案の可決、民法ラジオ電波事業の中止、集住型宿泊交流拠点施設の建設地の変更、農協支店存続のための土地・建物取得問題、そして今は副村長が不在となつていています。公約とは関係のないものもあるが、達成状況の所感を伺う。達成度を1

伊藤議員 今、村長が自分たちの相談は住民福祉班、場合によつては健康推進班も関わりながら対応しているが、村内にはサービス提供

伊藤議員 現在の施策として、「健康づくり」「教育」「雇用の拡大」の3点を重視して、将来に希望の持てる村にするため、「誠実そして堅実な行政運営」「生活できる村」「生活しやすい村」、この3つの基本的な考え方に基づいて選挙公約を掲げた。

伊藤議員 人口減少、少子高齢化の中で、黙つていれば村が駄目になる、将来に希望が持てなくなるのではといふ心配を強く思つてゐる。やつと4年間で、国や県、対外的な対応がスムーズになつてきた。これまでの行政経験を活かした村づくりをさせていただきたい。村づくりの考え方は、「健康

伊藤議員 この1期4年間の経験を踏まえ、総合計画及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をしつかり精査をしていただくとともに、初心を忘れずに頑張つてもらいたい。

伊藤議員 村長 障害者やその家族からの相談は住民福祉班、場合によつては健康推進班も関わりながら対応しているが、村内にはサービス提供

伊藤議員 村長は3項目の公約を掲げて取り組んできましたが、この3年半を振り返れば、副村長・監査委員の人事につまづき、計画性に欠ける小水力発電の減額修正案の可決、民法ラジオ電波事業の中止、集住型宿泊交流拠点施設の建設地の変更、農協支店存続のための土地・建物取得問題、そして今は副村長が不在となつていています。公約とは関係のないものもあるが、達成状況の所感を伺う。達成度を1

伊藤議員 今、村長が自分たちの相談は住民福祉班、場合によつては健康推進班も関わりながら対応しているが、村内にはサービス提供

伊藤議員 現在の施策として、「健康づくり」「教育」「雇用の拡大」の3点を重視して、将来に希望の持てる村にするため、「誠実そして堅実な行政運営」「生活できる村」「生活しやすい村」、この3つの基本的な考え方に基づいて選挙公約を掲げた。

伊藤議員 人口減少、少子高齢化の中で、黙つていれば村が駄目になる、将来に希望が持てなくなるのではといふ心配を強く思つてゐる。やつと4年間で、国や県、対外的な対応がスムーズになつてきた。これまでの行政経験を活かした村づくりをさせていただきたい。村づくりの考え方は、「健康

伊藤議員 この1期4年間の経験を踏まえ、総合計画及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」をしつかり精査をしていただくとともに、初心を忘れずに頑張つてもらいたい。

質問

山林活用計画の説明を

その時期は

村長

委託作業の状況から1月下旬を予定



【武石辰久議員】

森林経営管理法に基づく森林環境譲与税の林業振興・整備計画

新たに来年度(平成31年度)から施行される31年

①民有林は高齢化や担い手不足により、未整備の状況が増えていく。新たに来年度から森林経営管理法に基づく森林環境譲与税の林業振興・整備計画

②前倒しされる森林環境譲与税の村の年度配分見込額は。

③譲与税については、人材育成、担い手確保、森林整備等々にあたることができが、来年度からの計画内容は。

④山林活用計画も含め、事業を進めるためには、林政アドバイザーや林業専門担当職員の増員体制と人材育成強化が必要になるが、その対応は。

⑤現在、募集している地域おこし協力隊員の「林業プロデューサー」と「地域エディター」の内容と関係は。

⑥別に策定済みの「山林活用計画」の説明会を開催する必要があると思うが、その時期は。

業を執行できることになるが、村としてどう取り組むか。

②前倒しされる森林環境譲与税の村の年度配分見込額は。

③譲与税については、人材育成、担い手確保、森林整備等々にあたることができが、来年度からの計画内容は。

④山林活用計画も含め、事業を進めるためには、林政アドバイザーや林業専門担当職員の増員体制と人材育成強化が必要になるが、その対応は。

⑤現在、募集している地域おこし協力隊員の「林業プロデューサー」と「地域エディター」の内容と関係は。

⑥別に策定済みの「山林活用計画」の説明会を開催する必要があると思うが、その時期は。

村長

①森林管理法に基づき、村内の私有林が小班単位で11000ha所、関係者約2500人の森林所有者の確認と管理意向調査の前提作業がある。その調査を基に管理計画を策定することになり、森林環境譲与税を活用する。管理できないと意思表示をした森林については、事業体が管理受託をすることになるが、受託者がいない場合は村で管理することもある。計画策定にあたっては、事業量、事業主体等の関連があり、北秋田地域振興局が主催している管内連絡会で集約と調整をしながら策定する。

②森林環境譲与税は、来年度から概ね650万円の交付となる見込み。また、森林環境税については、平成37年度から交付が始まり、最終的には年間約2000

円の交付が見込まれている。

③前段のとおり、まずは森林所有者の確認と管理意向調査を村で実施することになるが、調査量から複数年かかると想定している。

④庁内の職員体制も考慮しなければならず、増員については慎重に対応したい。

⑤「林業プロデューサー」は、林業を軸とした村の活性化の企画や林業の付加価値を高める活動で、一例として林業体験ツアーや特用林産物の販売促進、木を原料とした新商品の開発等を行うものである。なお、「地域エディター」については、SNS等を使用した村の魅力の情報発信で少し性質が異なる。

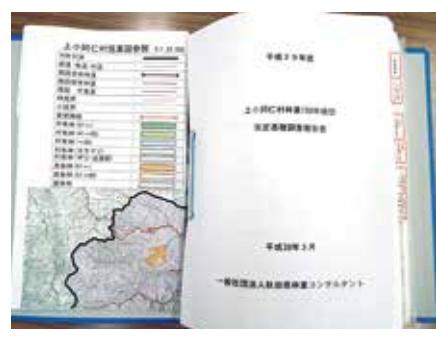
⑥「山林活用計画」は現在、集落から要望のあった道路網の整備や事業量等について網羅した内容で委託作業中である。計画内容がまとまり次第、関係各位の意見をいただき、説明会の開催時期は1月下旬を予定している。

武石議員

この制度は、昭和60年頃から33年もかけての運動による創設である。今後、実のある計画実践で、山林所有者が希望を持ち、所得の向上等を図り、山を活かした自立村で経営していくことができるよう、取り組みの重点強化を求める。

山林所有者が希望を持つる取り組みを

12月いっぱいの応募で、林業に関しては産業課、SNSの関係は総務課で考えている。



各集落からの要望を網羅した基礎調査報告書

質問

健康ポイント制度 早期実現を

村長

全職員 全課を挙げて取り組みたい



【大城戸ツヤ子議員】

大城戸議員 県は「健康寿命日本一」を目指している。いろいろなキャンペーンを実施している。村はさらに、「秋田県一」を目指している。①健康に关心を持つてもらうため、健康ポイント制度の早期実現を。
②職員の口腔ケアの必要性、時間外勤務時の食事、禁煙をテーマにどのような取り組みをしてきたか、喫煙者の実態を把握しているのか。

③ラジオ体操の実施度、調査したことがあるか、工夫が必要では。

④今後の導入に向け、全庁を挙げた取り組みとなるよう、職員研修で先進事例を学ぶ機会を設けている。現在、健康関連事業等の洗い出し、ポイントと交換する特典等のあり方など、課題の整理を行なつていている。



健康ポイント事業について埼玉県寄居町を視察（平成30年11月19日）

③ラジオ体操の実施度、調査したことがあるか、工夫が必要では。

職員の健康管理のための禁煙対策及び来庁者の受動喫煙防止対策として、敷地内禁煙が必要であるとの認識をしている。

③調査はしていないが、体を動かし、気持ちもりフレッシュすることができる時間として活用していただき、多くの方の健康づくりにながることを期待している。

④今後の導入に向け、全庁を挙げた取り組みとなるよう、職員研修で先進事例を学ぶ機会を設けている。現在、健康関連事業等の洗い出し、ポイントと交換する特典等のあり方など、課題の整理を行なつていている。

③調査はしていないが、体を動かし、気持ちもりフレッシュすることができる時間として活用していただき、多くの方の健康づくりにながることを期待している。

大城戸議員 残業後の遅い食事は、生活習慣病の引き金となる。喫煙者が何名いるか把握は必要であり、対策を望む。よく「タバコを吸えない状況では仕事も手につかない」と言うが、言い訳だと思う。残念なことに宿舎内にタバコの自販機が置かれているが。

④今後の導入に向け、全庁を挙げた取り組みとなるよう、職員研修で先進事例を学ぶ機会を設けている。現在、健康関連事業等の洗い出し、ポイントと交換する特典等のあり方など、課題の整理を行なつていている。

村長 ①小・中学校への避難訓練の実施にあたっては、自主防災会、集落会、消防分署のほか、学校関係者等の協力が必要になつてくるので、内容等を含め検討させていただきたい。

②小・中学校で避難所として想定しているのが中央ホール、柔道場、教室などであるため、授業等学校活動への影響も考慮しながら、会場となる施設や訓練の内容を検討させていただきたい。

大城戸議員 猛暑や豪雨、台風と異常気象を強く印象づけた1年であつた。実際に役立つ避難訓練を実施すべきではないか。

①小沢田集落と上小阿仁小・中学校の対応。

教育長 ③小・中学校でも年に3回の避難訓練、地震や火災、不審者への対応、また、道徳の授業では命を守ることの大切さを考える機会がある。例えば、備蓄食料を利用した防災給食、野外での飯盒焼きの練習、煙体験ハウスなど、関係機関と相談しながら進めてまいりたい。

②小・中学校避難所開設訓練について。

③防災キャンプの実施（小・中学校）。

大城戸議員 校長先生の話では、村、教育委員会や消防署など、関係機関と一緒につてやりたいと聞いているので、そういう活動を期待している。

質問

コスト削減へ 土壌分析費に助成を

村長

希望農家によつて村の対応異なる



【齊藤鉄子議員】

農業経営

齊藤議員 ①今年の作柄は予想された作況指数よりも大幅に下がつた。専業農家ほど影響は大きい。何か支援策をお考えではないか。

②北海道新篠津村では、土壤分析研究所があり、肥料体系の見直しを図り、経営コストに努めている。村として県などの調査機関に働きかけ、分析に対する助成を検討してもらいたい。



新篠津村農業振興センターを視察
(農業委員会研修／平成30年8月23日)

村長 ①これまで種子に対する助成などを実施した経緯があるが、今回は減収の検証が難しい。国の収入保険制度を活用していただきたい。

②新篠津村の土壤は泥炭土で土壤分析を的確に行わなければならぬほどの脆弱

な土壤だと聞いている。J Aによると、村の土壤は有機資材等により地力培養がしやすい土壤となつており、希望農家がどれくらいのか、それによつて村の対応が変わつてくる。

高校生への通学助成

齊藤議員 利用勝手の悪い定期券の半額補助をやめて、高校生1名につき月額1万円の助成をしたらどうか。

道の駅周辺の整備

齊藤議員 村を活性化させ

村長 高校生に限らず、全村民を対象とした通勤、通学に対する助成で、公共交通機関の利用が目的である。具体的には路線バス存続のための利用促進を図り、い

齊藤議員 子ども広場は結構利用されているようだが、中途半端。子どもたちが遊べるような道の駅はあまりないので、小さい子どもから小学高学年まで利用できるような環境整備をお願いしたい。

村長 検査料が1件1万円ほどかかる。費用対効果を考えた場合、難しい。県立大学にも分析室があるので、希望する農家がいれば、試しに実施することも可能だ。

齊藤議員 とで対応すれば、稻作だけではなく、野菜や花き等、色々な面で収量アップ、コスト削減につながると思う。

てきたが、科学的分析のもとで対応すれば、稻作だけではなく、野菜や花き等、色々な面で収量アップ、コスト削減につながると思う。

るため、さらなる道の駅周辺の整備を図るべきではないか。例えば、遊具の充実、小阿仁川の活用、食用ホオズキの摘み取り体験、高速充電設備、山野草ハウスなど、少しでも長く滞在してもらえるような環境づくりを図るべき。

議会の動き



荒沢ダム総合管理事務所職員より説明を受ける



河川環境について話し合われた
小阿仁川筋ダム対策協議会

上小阿仁橋撤去工事は、
平成30年9月3日、秋田土
関係者に十分な説明を要望

・上小阿仁橋撤去工事請負
契約の変更について

安全対策を万全に

協議案件

第8回 議員全員協議会 12月11日(火)

建株式会社と9504万円で契約を締結しておりましたが、安全面も確保した上で工法を変更したと説明。当社の契約額から2000万円ほど減額し、変更後の契約額を7493万5800円とすることについて協議しました。

議会からは、防じん・防音対策、工事の進捗状況を適宜、関係者等へ説明しながら進めるよう求めたほか、国道から工事車両が出入りするため、安全対策などの要望が出されました。

小阿仁川水系 対策委員会 11月12日(月)

村議会と北秋田市議会で構成する小阿仁川水系対策委員会において、山形県の荒沢ダムを視察しました。

荒沢ダムは、総貯水容量が県営ダムとしては県内一で、かんがい用水及び発電を目的に昭和30年に完成。ダム建設までの経緯や下流域の環境変化について調査しました。

県をはじめ、小阿仁川水系対策委員会委員などが出席し、萩形ダムの管理状況や、小阿仁川の下流域から進めている築堤工事の状況、流況調査結果について意見を交わしました。

第57回 小阿仁川筋ダム 対策連絡協議会 11月26日(月)

建設部からは「下流の築堤整備によつて、川の流れ、流下能力が上がると思う」と説明し、理解を求めました。

期に河川改良をしてほしい」と要望しました。

被害が発生しているため、早く備するには理解できるとしたうえで、「大雨に見舞われる毎回、同じ場所で水害が発生しているため、早く河川改良をしてほしい」と要望しました。



今後の定例会日程予定表

区分	会議名	開催年月日	曜日	会期 (休会を除く日数)
3月定例会	議会運営委員会	平成31年 2月22日	金	13日 (9日)
	開 会	平成31年 3月 1日	金	
	閉 会	平成31年 3月13日	水	

議会を傍聴してみませんか

12月定例本会議の傍聴者は4人でした。

亥年生まれ

「将来の夢」「抱負」「目標」



- ①6年 中学校では、宿題をしつかりとやり、部活でも練習をがんばりたいです。
- ②6年 来年は陸上をがんばり、投げる種目に出演したら優勝することができます。
- ③5年 県大会に出て、絶対1位になれるようにがんばります。
- ④5年 バスケ部キヤプテンとして、みんなをまとめ、チームに入れるように真ひっぱっていきたいです。
- ⑤5年 将来、プラモモデルやゲームなどを売るおもちゃ屋さんになります。
- ⑥5年 将来、プロサッカー選手になつて、たくさんゴールを決めて、大活やくします。
- ⑦5年 ミニバスの練習を真剣に、集中して取り組み、全県優勝を目指します。
- ⑧5年 年は、陸上のハーモルで全県大会決勝に行きます。
- ⑨5年 伊藤秀記

終わりに、今年は災害等のない平穏な年でありますことを心からお祈りいたします。

(伊藤秀記)

編集委員

委員長 佐藤 真二
副委員長 大城戸ツヤ子
委員 伊藤 秀明
武石 北林 義高
辰久

編集後記

新年、明けましておめでとうございます。

村民の皆様には、明るい年明けになつたことと存ります。昨年は、度重なる水害、そして火災などがあり、被災された方々には、心からお見舞いを申し上げます。

さて、議会だよりは一人で

も多くの方に読んでいただけよう、編集にあたつては議会活動を限られた紙面で、色々工夫を重ねながら皆さんに親しまれる「議会広報」を目指します。

終わりに、今年は災害等のない平穏な年でありますことを心からお祈りいたします。

(伊藤秀記)